

東北厚生局長 殿

秋田大学医学部附属病院長  
伊藤 宏

秋田大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 23 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	126	人
--------	-----	---

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	312人	0人	312.0人	看護補助者	55人	診療エックス線技師	人
歯科医師	11人	0人	11.0人	理学療法士	3人	臨床検査技師	42人
薬剤師	24人	0人	24.0人	作業療法士	1人	衛生検査技師	人
保健師	人	人	人	視能訓練士	2人	その他	人
助産師	25人	0人	25.0人	義肢装具士	人	あん摩マッサージ指圧師	人
看護師	557人	14人	567.8人	臨床工学技士	7人	医療社会事業従事者	3人
准看護師	2人	2人	3.5人	栄養士	人	その他の技術員	25人
歯科衛生士	1人	1人	1.5人	歯科技工士	2人	事務職員	124人
管理栄養士	4人	0人	4.0人	診療放射線技師	26人	その他の職員	29人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。  
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。  
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数  
 歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	457.7 人	9.8 人	467.5 人
1日当たり平均外来患者数	994.7 人	51.2 人	1,045.9 人
1日当たり平均調剤数		748.3 剤	

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。  
 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。  
 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。  
 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

### 高度の医療の提供の実績

#### 1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
インプラント義歯	2人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	4人
内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	1人
顎顔面補綴	0人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第二百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

## 高度の医療の提供の実績

## 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	92人	・膿疱性乾癬	9人
・多発性硬化症	86人	・広範脊柱管狭窄症	3人
・重症筋無力症	79人	・原発性胆汁性肝硬変	65人
・全身性エリテマトーデス	301人	・重症急性膵炎	5人
・スモン	1人	・特発性大腿骨頭壊死症	69人
・再生不良性貧血	38人	・混合性結合組織病	47人
・サルコイドーシス	113人	・原発性免疫不全症候群	10人
・筋萎縮性側索硬化症	61人	・特発性間質性肺炎	12人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	154人	・網膜色素変性症	26人
・特発性血小板減少性紫斑病	83人	・プリオン病	1人
・結節性動脈周囲炎	47人	・肺動脈性肺高血圧症	5人
・潰瘍性大腸炎	175人	・神経線維腫症	23人
・大動脈炎症候群	35人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ビュルガー病	33人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	2人
・天疱瘡	41人	・慢性血栓性肺高血圧症	2人
・脊髄小脳変性症	56人	・ライソゾーム病	3人
・クローン病	72人	・副腎白質ジストロフィー	2人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	5人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	24人	・脊髄性筋萎縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	153人	・球脊髄性筋萎縮症	4人
・アミロイドーシス	4人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	5人
・後縦靭帯骨化症	43人	・肥大型心筋症	0人
・ハンチントン病	1人	・拘束型心筋症	20人
・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	34人	・ミトコンドリア病	2人
・ウェゲナー肉芽腫症	15人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	2人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	34人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	0人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	37人	・黄色靭帯骨化症	2人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	1人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	49人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・胎児心超音波検査	・
・インプラント義歯	・
・内視鏡的大腸粘膜下層剥離術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 ② 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	10回
部 検 の 状 況	部検症例数 26 例 / 部検率 9.20%

## 高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
イノシトールリン脂質による脂肪肝炎と肝癌制御機構の解明—新規治療薬の開発に向けて	堀江 泰夫	第一内科	1,560,000	① 独立行政法人 日本学術振興会
IRF2—/—マウスの膵外分泌異常の解明—新しい膵炎治療のターゲットを求めて—	真嶋 浩聡	第一内科	910,000	① 独立行政法人 日本学術振興会
TRPチャネルによる心筋細胞肥大・細胞死の制御	伊藤 宏	第二内科	1,300,000	① 独立行政法人 日本学術振興会
心房細動の発症・維持に関与する新しいイオンメカニズムの解明	飯野 健二	第二内科	1,690,000	① 独立行政法人 日本学術振興会
骨髄性白血病におけるmicroRNA発現異常	高橋 直人	第三内科	3,900,000	① 独立行政法人 日本学術振興会
樹状細胞による造血制御	澤田 賢一	第三内科	2,860,000	① 独立行政法人 日本学術振興会
糸球体濾過バリアー機能維持に重要な分子間相互作用と情報伝達系における意義の解析	涌井 秀樹	第三内科	1,300,000	① 独立行政法人 日本学術振興会
悪性リンパ腫のmicroRNA発現異常の探索, 診断と治療法への応用	田川 博之	第三内科	650,000	① 独立行政法人 日本学術振興会
骨髄腫の分子治療標的となるマイクロRNAの同定	齊藤 宏文	第三内科	1,170,000	① 独立行政法人 日本学術振興会
造血器腫瘍におけるがん抑制的microRNAの同定	渡部 敦	第三内科	3,120,000	① 独立行政法人 日本学術振興会
新規クルクミン誘導体を用いた新しいがん薬物療法の開発	柴田 浩行	腫瘍内科	1,690,000	① 独立行政法人 日本学術振興会
「創薬コンセプトに基づく戦略的治療デザインの確立」(大腸がん治療反応性を予測するバイオマーカーの探索における治療標的探索—乳がんと比較)	柴田 浩行	腫瘍内科	1,000,000	補 文部科学省
初回TS-1療法に治療抵抗性を示した進行・再発胃癌に対する二次化学療法—CPT-11単独療法 vs TS-1+CPT-11併用化学療法の無作為比較第Ⅱ/Ⅲ相臨床試験—	大塚 和令	腫瘍内科	0	補 特定非営利活動 法人日本がん臨床 試験推進機構
栄養蓄積因子GIPと代謝疾患に関する研究	山田 祐一郎	老年科	5,850,000	① 独立行政法人 日本学術振興会
糖尿病性腎症の発症に関わるマイクロRNAの同定とその機能解	藤田 浩樹	老年科	2,860,000	① 独立行政法人 日本学術振興会
HPLC法尿アルブミンの糖尿病性腎症発症・地域住民での心血管疾患発症予測能の研究	成田 琢磨	老年科	1,040,000	① 独立行政法人 日本学術振興会
GLP-1の糖尿病腎症予防効果に関する研究	森井 幸	老年科	1,560,000	① 独立行政法人 日本学術振興会
65歳以上の高齢者2型糖尿病における、シタグリプチンあるいはグリメピリドによる有効性および安全性に関する比較検討試験(START-)	成田 琢磨	老年科	0	補 社団法人 日本糖尿病協会
内分泌学・代謝学・栄養学分野に関する学術動向の調査研究	山田 祐一郎	老年科	1,969,000	① 独立行政法人 日本学術振興会
肝内胆管癌における肝内リンパ管侵襲機序の解明	打波 宇	第一外科	1,820,000	① 独立行政法人 日本学術振興会

StageⅢ結腸癌治癒切除例に対する術後補助化学療法としてのUFT/Leucovorin療法とTS-1療法の第Ⅲ相比較臨床試験および遺伝子発現に基づく効果予測因子の探索的研究	宮澤 秀彰	第一外科	0	補 委	財団法人先端医療振興財団
電界非接触攪拌技術を応用して血中浮遊癌細胞を捕獲する技術の開発	小川 純一	第二外科	5,850,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
電界非接触攪拌技術を用いた術中迅速免疫組織染色法の開発	南谷 佳弘	第二外科	5,720,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
CRP遺伝子多型による食道癌リンパ節転移診断法の開発と機序解明	本山 悟	第二外科	1,170,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
扁平上皮癌に対する新規化学放射線療法感受性マーカーREGI、BAGIの臨床展開	本山 悟	第二外科	2,990,000	補 委	独立行政法人科学技術振興機構
電界攪拌技術を適用した革新的迅速抗原抗体反応技術ならびに検出装置の開発	南谷 佳弘	第二外科	6,292,416	補 委	財団法人あきた企業活性化センター
CRP遺伝子多型による次世代固形癌リンパ節転移リスク診断法の開発	本山 悟	第二外科	650,000	補 委	独立行政法人科学技術振興機構
自家蛍光観察システムを用いた新しい術中心筋モニターの開発	山本 文雄	心臓血管外科	1,040,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
心筋虚血再灌流後の好氣的代謝復活による心筋傷害:二酸化炭素産生とカルシウム過負荷	山本 浩史	心臓血管外科	3,120,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
ナノ磁性体による電磁誘導を利用したハイブリッド人工血管の開発に関する研究	石橋 和幸	心臓血管外科	2,730,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
脳腫瘍における人工アミノ酸イメージングを指標とするテモゾロミド治療増強法の開発	笹嶋 寿郎	脳神経外科	1,560,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
アンジオテンシン受容体制御による虚血性脳損傷抑制のメカニズムに関する研究	柳澤 俊晴	脳神経外科	1,950,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
脊髄損傷後の神経細胞障害におけるグリシンの役割	菅原 卓	脳神経外科	1,300,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
ω3系脂肪製剤による肝臓星細胞活性抑制の検討	吉野 裕顕	小児外科	2,860,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
肝内胆汁鬱滞に対する新たな治療アプローチの開発	森井 真也子	小児外科	1,820,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
小児病態における細胞内脂質輸送の研究	高橋 勉	小児外科	1,300,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
胚性遺伝子の強発現による卵子の質向上への挑戦	寺田 幸弘	産科婦人科	1,040,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
卵子バンクの安全性向上にむけたヒト白血病発症NOGマウスでの腫瘍細胞の挙動の検討	寺田 幸弘	産科婦人科	4,160,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会
秋田県不妊専門相談センター事業	寺田 幸弘	産科婦人科	3,213,000	補 委	秋田県
休眠原始卵胞活性化技術を用いたヒト卵胞発育制御因子の解明と卵巣一卵胞培養法の確立	河村 和弘	産科婦人科	3,000,000	補 委	独立行政法人日本学術振興会

小計 20



神経栄養因子の女性生殖領域における役割の包括的検討とその臨床応用	河村 和弘	産科婦人科	780,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
凍結保存卵巣からの卵子再生：効率的な妊娠への新たな手技の確立	熊澤 由紀代	産科婦人科	1,690,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
手術摘出卵巣からの卵子を用いたヒト加齢に伴う卵子減数紡錘体機能の変化に関する研究	熊谷 仁	産科婦人科	1,820,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
着床前診断における割球除去が胚発育挙動とエピジェネティックなプロセスに与える影響	佐藤 恵	産科婦人科	1,690,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
睡眠医療及び睡眠研究用プラットフォームの構築に関する研究	清水 徹男	精神科	700,000	補委	独立行政法人国 立精神・神経医療 研究センター
2次性の過眠症の病態検討とナルコレプシーでの脳内鉄代謝とむずむず脚の病態の検討	神林 崇	精神科	390,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
髄液ヒスタミン値を用いた過眠症の診断確立と反復性過眠症での視床下部蛋白の原因検索	清水 徹男	精神科	390,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
ナルコレプシー治療薬モダフィニルの有効性の性差と遺伝子多型による差異に関する検討	菊池 結花	精神科	130,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
睡眠覚醒リズムの個人特性に関する研究	越前屋 勝	精神科	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
収束超音波を用いた軟部肉腫の治療について	永澤 博幸	整形外科	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
メラノサイト幹細胞の未分化性維持機構とその破綻による腫瘍発生の分子基盤	真鍋 求	皮膚科	2,210,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
皮膚扁平上皮癌におけるPI3K $\gamma$ の分子制御：臨床展開への模索に向けて	津田 昌明	皮膚科	1,040,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
扁平上皮癌の分子病態：表皮インシトールリン脂質代謝経路のシステム破綻とその制御	河村 七美	皮膚科	2,210,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
高脂肪・高カロリー食による泌尿器癌の進展の分子機構の解明と治療標的分子の同定	羽瀨 友則	泌尿器科	5,850,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
希少腎細胞癌の分子病態解析と治療標的分子候補の同定	羽瀨 友則	泌尿器科	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
脂肪組織由来MCP-1を介した高脂肪食摂取下の前立腺癌増殖・進展機序の解明	成田 伸太郎	泌尿器科	2,470,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
Xp11.2転座をともなう腎細胞癌の生物学的特徴の解明	沼倉 一幸	泌尿器科	2,990,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
進行性前立腺癌の予後予測ならびに治療における新規標的分子の探索的研究	土谷 順彦	泌尿器科	1,170,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
高脂肪食、肥満による前立腺癌増殖進展におけるTWEAK-Fn14シグナルの役割	黄 明国	泌尿器科	1,040,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
膀胱癌の尿中マーカーと治療標的としてのRANTES・MCP-1の可能性探究	鶴田 大	泌尿器科	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会

前立腺癌のアンドロゲン非依存性獲得機序におけるインスリンシグナルの分子病態解析	井上 高光	泌尿器科	2,080,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
移植腎線維増生関連因子の解析と免疫抑制薬個別投与量設計による線維化軽減効果の検討	佐藤 滋	泌尿器科	2,600,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
新しい緑内障実験モデルによる神経保護薬の効果検証装置の開発	石川 誠	眼科	1,495,000	補委	独立行政法人科学技術振興機構
頭頸部扁平上皮癌根治治療後のTS-1補助化学療法の効果の検討	石川 和夫	耳鼻咽喉科	0	補委	財団法人先端医療振興財団
頭頸部癌の浸潤・転移における変異EGFR(EGFRvIII)の関与と機序の解析	鈴木 真輔	耳鼻咽喉科	780,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
虚血性脊髄傷害におけるRhoキナーゼ阻害薬の脊髄保護効果	西川 俊昭	麻酔科	1,430,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
虚血性脳傷害におけるエストロゲンと低体温の併用効果	長崎 剛	麻酔科	1,170,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
$\alpha 2$ アゴニストの虚血中投与—低体温併用療法による脳保護作用の研究	佐藤 浩司	麻酔科	1,950,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
上皮—間葉相互作用を利用したヒト骨髄由来間葉系幹細胞の象牙芽細胞への分化誘導	中田 憲	歯科口腔外科	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
骨芽細胞の分化・増殖を促進する亜鉛修飾型チタン系インプラントの開発	福田 雅幸	歯科口腔外科	1,040,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
顎関節滑膜細胞における関節破壊に対するメカトランスダクション機構の解明	高野 裕史	歯科口腔外科	1,170,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
生体内におけるCpGのがん細胞に対するアジュバント効果の検討	桑島 精一	歯科口腔外科	1,560,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
天然鉱物(スメクタイト)を複合化した高精度歯科用レジンの開発	成田 王彦	歯科口腔外科	600,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
赤血球によるケモカインの吸着と放出のメカニズムに関する研究	萱場 広之	中央検査部	1,560,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
インソールリン脂質代謝による喘息病態制御と新規治療薬開発の探究	竹田 正秀	中央検査部	2,600,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
プロスタグランジンD2のシグナル伝達機構の解明と新規受容体の検索	小山田 一	中央検査部	3,380,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
吸入麻酔薬による術後認知機能低下の機序に関する研究	堀口 剛	中央手術部	650,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
体位検知とユビキタス技術による患者状態検知型医療安全・患者管理システムの研究	近藤 克幸	医療情報部	7,410,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
平成22年度ユビキタス健康医療技術推進事業	近藤 克幸	医療情報部	320,220	補委	厚生労働省
秋田診療情報共有化システムの検証と今後のあり方に関する研究	近藤 克幸	医療情報部	0	補委	秋田県

小計 20

ロケーション管理技術と仮想化で実現するセキュアでユビキタスな院内情報システム基盤	大佐賀 敦	医療情報部	3,640,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
脳虚血障害後の運動療法による内皮幹細胞活性化の基礎的検討	南條 博	病理部	2,860,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
Heregulinを介した大腸癌肝転移のメカニズムの解明とその治療法の研究	吉岡 年明	病理部	1,820,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
自己免疫性骨髄不全症候群における疾患特異的 $\gamma$ $\delta$ T細胞の同定と機能解析	廣川 誠	腫瘍情報センター	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
原発性胆汁性肝硬変モデルマウスにおける抑制性B細胞の同定と臨床応用への基礎的検討	守時 由起	医師キャリア形成支援センター	1,469,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
非アルコール性脂肪肝炎発症における自然免疫機構の解明 新規治療法の開発に向けて	三浦 光一	肝疾患相談支援センター	1,300,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
分子標的抗がん剤の血中トラップ濃度を指標とした個別化投与設計法の確立	三浦 昌朋	薬剤部	2,470,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
移植腎予後予測に向けた腎移植患者尿中繊維化因子の評価	佐々木 克也	薬剤部	600,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
細胞質CES活性の差異によるミコフェノール酸モフェチルのグルクロン酸抱合への影響	藤山 信弘	薬剤部	800,000	補委	独立行政法人 日本学術振興会
がん治療に関する調査研究	病院長		16,559,000	補委	秋田県

小計 10  
計 90

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Gastroenterology, 141, 1102-1113.	Interferon regulatory factor-2 regulates exocytosis mechanisms mediated by SNAREs in pancreatic acinar cells.	Mashima, H., Sato, T., Horie, Y., Nakagawa, Y., Kojima, I., Ohteki, T., Ohnishi, H.	第一内科
Clinical Medicine Insights: Gastroenterology, 4, 1-5.	Three Patients with Viral Breakthrough During Pegylated Interferon Alpha-2b and Ribavirin Therapy: A Case Series.	Kon, D., Goto, T., Miura, K., Ohshima, S., Shibuya, T., Kataoka, E., Sato, W., Dohmen, T., Anezaki, Y., Ishii, H., Yamada, I., Kamada, K., Ohnishi, H.	第一内科
J Gastroenterol Hepatol., 26, 201-206.	Epimorphin protects hepatocytes from oxidative stress by inhibiting mitochondrial injury.	Kinoshita, N., Horio, Y., Ohshima, S., Hirai, Y., Dohmen, T., Jin, M., Matsuhashi, T., Sasaki, J., Sasaki, T., Iizuka, M., Ohnishi, H.	第一内科
Store-operated Ca entry (SOCE) pathways	SOCE and TRPC/Stim/Orai Signaling in Cardiac Myocytes.	Watanabe H, Ohba T, Ito H.	第二内科
Anti-Inflammatory & Anti-allergy Agents in Medicinal Chemistry	TRPV1 and TRPA1 in pulmonary vagal afferents and their relations to airway sensitivity	Watanabe H, Ohba T, Satoh	第二内科
Heart and Vessels	Impact of obesity on plasma B-type natriuretic peptide levels in Japanese community based subjects.	Koizumi M, Watanabe H, Kaneko Y	第二内科
J Am Soc Echocardiogr.	The Prevalence of Apical Wall Motion Abnormalities in Patients with Long-Term Right Ventricular Apical Pacing.	Sato-Iino T, Watanabe H, Koyama T	第二内科
Internal Medicine.	Low mean corpuscular hemoglobin level is a predictor of discontinuation of antiplatelet therapy in patients with acute coronary syndrome.	Ishida M, Watanabe H, Iino K	第二内科
J Cancer Res Clin Oncol.	Endothelial progenitor cells are associated with response to chemotherapy in human non-small-cell lung cancer.	Morita R, Sato K, Nakano M,	第二内科
Circulation.	Position-dependent right-to-left shunt causing a brain abscess.	Sato T, Watanabe H, Iino K	第二内科
Annals of Thoracic Surgery	Right Atrial Giant Myxoma Occupying the right Ventricular Cavity	Sato T, Watanabe H, Okawa M	第二内科
Circ J.	Short-term Prognosis of Adaptive Servo-Ventilation Therapy in Patients with Heart Failure.	Koyama T, Watanabe H, Igarashi G	第二内科
Respiratory Medicine.	Adaptive Servo-Ventilation Improves Renal Function in Heart Failure Patients with Chronic Kidney Disease.	Koyama T, Watanabe H, Terada S	第二内科
BIODEVICES	Cardiac Diagnosing by a Piezoelectric-Transducer-Based Heart Sound Monitor System.	Sato S, Koyama T, Ono K	第二内科
Anti-Inflammatory & Anti-Allergy Agents Medicinal Chemistry	TRPV1 and TRPA1 in pulmonary Vagal Afferents and their Relations to Airway Sensitivity.	Watanabe H, Ohba T, Sato K	第二内科
Heart and Vessels	A free-floating left atrial thrombus develops intermittent entrapment in the mid-ventricle during diastole.	Fujiwara M, Watanabe H, Oguma Y,	第二内科
Int.J.Cardiol	Abnormal Coagulation and Platelet Profile in Patients with Obstructive Sleep Apnea Syndrome.	Terada S, Koyama T, Watanabe H	第二内科

J. Am. Coll. Cardiol.	Adequate Pulmonary Stenosis Allowed Long-term Survival in a Patient with Unoperated Single Ventricle.	Terada M, Watanabe H, Iino K	第二内科
Int J Hematol 94:230-240, 2011.	Age-associated alteration of gammadelta T-cell repertoire and different profiles of activation-induced death of Vdelta1 and Vdelta2 T cells.	Michishita Y, Hirokawa M, Guo YM, Abe Y, Liu J, Ubukawa K, Fujishima N, Fujishima M, Yoshioka T, Kameoka Y, Saito H, Tagawa H, Takahashi N, Sawada K.	第三内科
Ther Drug Monit 33:108-114, 2011.	Simultaneous determination of warfarin and 7-hydroxywarfarin enantiomers by high-performance liquid chromatography with ultraviolet detection.	Miura M, Okuyama S, Kato S, Kagaya H, Murata A, Komatsuda A, Wakui H, Sawada K.	第三内科
Clin Chim Acta 412:2002-2006, 2011.	Drug interaction of (S)-warfarin, and not (R)-warfarin, with itraconazole in a hematopoietic stem cell transplant recipient.	Miura M, Takahashi N, Kanno S, Kato S, Nara M, Itoh M, Saitoh H, Yoshioka T, Kameoka Y, Fujishima N, Tagawa H, Hirokawa M, Sawada K.	第三内科
Clin Exp Nephrol 15:582-585, 2011.	Renal paradoxical embolism in a hypertensive young adult without acute ischemic symptoms.	Nara M, Komatsuda A, Fujishima M, Fujishima N, Nara M, Iino T, Ito H, Sawada K, Wakui H.	第三内科
Ann Clin Biochem 47:432-439, 2011.	A simple, sensitive high-performance liquid chromatography-ultraviolet method for the quantification of concentration and steady-state pharmacokinetics of itraconazole and hydroxyitraconazole.	Miura M, Takahashi N, Nara M, Fujishima N, Kagaya H, Kameoka Y, Saitoh H, Tagawa H, Sawada K.	第三内科
J Chromatogr Sci 49:412-415, 2011.	Quantitative determination of imatinib in human plasma with high-performance liquid chromatography and ultraviolet detection.	Miura M, Takahashi N, Sawada K.	第三内科
Intern Med 50:2213-2217, 2011.	Successful treatment of necrotizing fasciitis in an upper extremity caused by Clostridium perfringens after bone marrow transplantation.	Ito M, Takahashi N, Saitoh H, Shida S, Nagao T, Kume M, Kameoka Y, Tagawa H, Fujishima N, Hirokawa M, Tazawa H, Minato T, Yamada S, Sawada K.	第三内科
Am J Med Sci 343:136-140, 2011	Serum procalcitonin levels in patients with myeloperoxidase-antineutrophil cytoplasmic antibodies-associated glomerulonephritis.	Komatsuda A, Omokawa A, Fujiwara T, Sato R, Togashi M, Okuyama S, Sawada KI, Wakui H.	第三内科
J Infect Chemother 17:858-862, 2011	Fatal hemorrhagic pneumonia caused by Stenotrophomonas maltophilia in a patient with non-Hodgkin lymphoma.	Takahashi N, Yoshioka T, Kameoka Y, Tagawa H, Fujishima N, Saitoh H, Hirokawa M, Enomoto K, Sawada K.	第三内科
Leukemia 25:1324-1334, 2011.	The role of microRNA-150 as a tumor suppressor in malignant lymphoma.	Watanabe A, Tagawa H, Yamashita J, Teshima K, Nara M, Iwamoto K, Kume M, Kameoka Y, Takahashi N, Nakagawa T, Shimizu N, Sawada K.	第三内科
Intern Med 50:2383-2387, 2011.	False-positive human immunodeficiency virus antibody test and autoimmune hemolytic anemia in a patient with angioimmunoblastic T-cell lymphoma.	Shida S, Takahashi N, Fujishima N, Kameoka Y, Nara M, Fujishima M, Saitoh H, Tagawa H, Hirokawa M, Ichinohasama R, Sawada K.	第三内科
Blood. 119:1036-1044, 2012.	Enucleation of human erythroblasts involves nonmuscle myosin IIB.	Takahashi N, Miura M, Kameoka Y, Abumiya M, Sawada K.	第三内科
Am J Hematol. 2011. [Epub ahead of print]	Drug interaction between lenalidomide and itraconazole.	Takahashi N, Miura M, Kameoka Y, Abumiya M, Sawada K.	第三内科

Exp Hematol. 2011. [Epub ahead of print]	A synthetic double-stranded RNA, poly I:C, induces a rapid apoptosis of human CD34(+) cells.	○Liu J, Guo YM, Hirokawa M, Iwamoto K, Ubukawa K, Michishita Y, Fujishima N, Tagawa H, Takahashi N, Xiao W, Yamashita J, Ohteki T, Sawada K.	第三内科
Nephrol Dial Transplant. 2011. [Epub ahead of print]	Distribution of glomerular IgG subclass deposits in patients with membranous nephropathy and anti-U1 ribonucleoprotein antibody.	Omokawa A, Komatsuda A, Nara M, Fujiwara S, Sato R, Togashi M, Okuyama S, Sawada KI, Wakui H.	第三内科
Am J Med Genet A. 2011. [Epub ahead of print]	Jacobsen syndrome due to an unbalanced translocation between 11q23 and 22q11.2 identified at age 40 years.	Takahashi I, Takahashi T, Sawada K, Shimojima K, Yamamoto T.	第三内科
Cancer Chemother Pharmacol. 2011. [Epub ahead of print]	Influence of H2-receptor antagonists and proton pump inhibitors on dasatinib pharmacokinetics in Japanese leukemia patients.	Takahashi N, Miura M, Niioka T, Sawada K.	第三内科
Haematologica. 2011. [Epub ahead of print]	Discontinuation of imatinib in Japanese patients with chronic myeloid leukemia.	Takahashi N, Kyo T, Maeda Y, Sugihara T, Usuki K, Kawaguchi T, Usui N, Okamoto S, Ohe Y, Ohtake S, Kitamura K, Yamamoto M, Teshima H, Motoji T, Tamaki T, Sawada K, Ohyashiki K.	第三内科
Am J Hematol. 2011. [Epub ahead of print]	Drug interaction between lenalidomide and itraconazole.	Takahashi N, Miura M, Kameoka Y, Abumiya M, Sawada K.	第三内科
Nat Med. 2012 Mar 18;18(4):521-8. doi: 10.1038/nm.2713.	A common BIM deletion polymorphism mediates intrinsic resistance and inferior responses to tyrosine kinase inhibitors in cancer.	Ng KP, Hillmer AM, Chuah CT, Juan WC, Ko TK, Teo AS, Ariyaratne PN, Takahashi N, Sawada K, Fei Y, Soh S, Lee WH, Huang JW, Allen JC Jr, Woo XY, Nagarajan N, Kumar V, Thalamuthu A, Poh WT, Ang AL, Mya HT, How GF, Yang LY, Koh LP, Chowbay B, Chang CT, Nadarajan VS, Chng WJ, Than H, Lim LC, Goh YT, Zhang S, Poh D, Tan P, Seet JE, Ang MK, Chau NM, Ng QS, Tan DS, Soda M, Isobe K, Nöthen MM, Wong TY, Shahab A, Ruan X, Cacheux-Rataboul V, Sung WK, Tan BH, Yatabe Y, Mano H, Soo RA, Chin TM, Lim WT, Ruan Y, Ong ST.	第三内科
J Diabetes Invest 2(1):63-70,2011.	Efficacy and safety of patient-directed titration of once-daily pre-dinner premixed biphasic insulin aspart 70/30 injection in Japanese type 2 diabetic patients with oral antidiabetic drug failure:STEP-AKITA study.	Narita T, Goto T, Suganuma Y, Hosoba M, Morii T, Sato T, Fujita H, Miura T, Shimotomai T, Yamada Y, Kakei M	老年科
Hypertens Res 34(12):1302-1308,2011.	Reduction of circulating superoxide dismutase activity in type 2 diabetic patients with microalbuminuria and its modulation by telmisartan therapy.	Fujita H, Sakamoto T, Komatsu K, Fujishima H, Morii T, Narita T, Takahashi T, Yamada Y	老年科
Med Mol Morphol 44: 103-110,2011.	A novel monoclonal antibody identified hepatic stem-like cells in rats.	Watanabe G, Nanjo H, Nagai H, Wang J, Koyata S, Yamamoto Y, Sugiyama T.	第一外科

A case report Case Report in Oncological Medicine Volume 2011, Article ID 638794, 5 pages, doi:10.1155/2011/638794	18FDG-PET at 1-month interval is a better predictive marker for GISTs that are difficult to be diagnosed histopathologically:	Otsuka K, Takahashi M, Nanjo H, Miyazawa H, Iida M, Abe Y, Jin M, Onishi H, Hashimoto M, Yamamoto Y, Shibata H.	第一外科
Viszeralmedizin. 28:60-67,2012.	Optimizing the liver for resection in patients undergoing extended hepatectomy or receiving chemotherapy.	Uchinami H, Yamamoto Y.	第一外科
Hum Gene Ther 23:428-436,2012	Transfection of naked nuclear factor kB decoy oligodeoxynucleotide into the liver by rapid portal vein infusion in rat: Its effect on ischemia-reperfusion injury of the liver.	Watanabe G, Uchinami H, Yoshioka M, Abe Y, Kikuchi I, Iwasaki W, Kume M, Yamamoto Y.	第一外科
Biochem Biophys Res Commun	IGFBP3 and BAG1 enhance radiation-induced apoptosis in squamous esophageal cancer cells	Yoshino K, Motoyama S, Koyota S,, Ogawa J,他	第二外科
Eur J Cardiothorac Surg	Pathological finding of subclinical interstitial pneumonia as a predictor of postoperative acute respiratory distress syndrome after pulmonary resection.	Saito H, 他	第二外科
Dis Esophagus	Therapeutic strategy for the treatment of postoperative recurrence of esophageal squamous cell carcinoma: clinical efficacy of radiotherapy.	Maruyama K, Motoyama S, 他	第二外科
Ann Surg Oncol	Interleukin-2 -330T>G Genetic Polymorphism Associates with Prognosis Following Surgery for Thoracic Esophageal Squamous Cell Cancer.	Motoyama S, 他	第二外科
Tumour Biol	Expression of the chemokine receptor CCR6 correlates with a favorable prognosis in patients with adenocarcinoma of the lung.	Minamiya Y,他	第二外科
Acta Histochem Cytochem	A novel immunohistochemical staining method allows ultrarapid detection of lymph node micrometastases while conserving antibody.	Toda H, Minamiya Y,他	第二外科
Ann Surg Oncol	Expression of the transient receptor potential channel c3 correlates with a favorable prognosis in patients with adenocarcinoma of the lung.	Saito H, 他	第二外科
Lung Cancer	Expression of histone deacetylase 1 correlates with a poor prognosis in patients with adenocarcinoma of the lung.	Minamiya Y, 他	第二外科
Esophagus	A proton pump inhibitor relieved a diffuse stricture caused by severe acid exposure from frequent vomiting and restored esophageal motility.	Motoyama S, 他	第二外科
World J Surg	Estimating the need for neck lymphadenectomy in submucosal esophageal cancer using superparamagnetic iron oxide-enhanced magnetic resonance imaging: clinical validation study.	Motoyama S, 他	第二外科
Surg Today	Tumoral CRP expression in thoracic esophageal squamous cell cancers is associated with poor outcomes.	Nakatsu T,Motoyama S, 他	第二外科
Gen Thorac Cardiovasc Surg	Effects of hypoxia on coronary microcirculation During postnatal development	Yamamoto,F	心臟血管外科
Eur Surg Res	Blood cardioplegia serves as a bicarbonate donor to the myocardium during ischemia:effects of anoxia and hypercapnia on acid-base characteristics of blood cardioplegic solution	Yamamoto,H	心臟血管外科
Gen Thorac Cardiovasc Surg	Acute occlusion of the abdominal aorta with concomitant internal iliac occlusion	Yamamoto,H	心臟血管外科

Ann Vasc Surg	Intermediate and long-term outcomes after treating symptomatic persistent sciatic artery using different techniques	Yamamoto,H	心臓血管外科
Gen Thorac Cardiovasc Surg	Bilateral retroperitoneal approach to repairing a ruptured right iliac artery aneurysm in a patient who has undergone transperitoneal abdominal surgery	Yamamoto,H	心臓血管外科
Ann Vasc Surg	Long-term outcomes of open surgical ruptured iliac artery aneurysms	Yamamoto,H	心臓血管外科
Interact Cardiovasc Thorac Surg	Vulnerability of an equine pericardial roll graft to Gram-positive cocci after graft replacement for ruptured infected abdominal aorta	Yamamoto,H	心臓血管外科
Interact Cardiovasc Thorac Surg	Open stent grafting for abdominal aortic aneurysm in a patient with a severely calcified abdominal aorta	Yamamoto,H	心臓血管外科
定位放射線治療	非機能性下垂体腺腫に対するfractionated stereotactic radiotherapy (FSRT)の長期治療成績	鈴木 明	脳神経外科
Spine	$\beta$ -tricalcium phosphate promotes bony fusion after anterior cervical discectomy and fusion using titanium cages.	Sugawara T	脳神経外科
外科と代謝栄養.	小児短腸症候群による障害に対するw-3系脂肪製剤投与の検討.	森井真也子, 吉野裕顕, 蛇口 琢, 南條 博, 野口篤子, 高橋勉, 目崎喜弘, 妹尾春樹, 蛇口達造	小児外科
Cholestasis. ed. Tripodi V. INTECH, Rijeka, Croatia, ISBN 979-953-307-187-8, pp. 81-98.	How do lampreys avoid cholestasis after bile duct degeneration.	Morii, M., Mezaki, Y., Yoshikawa, K., Miura, M., Imai, K., Hebuguchi, T., Watanabe, R., Asanuma, Y., Yoshino, H., and Senoo, H.	小児外科
Brain Res., 22, 165-174.	Hypoxia-ischemia induces hypophosphorylation of collapsin response mediator protein 2 in a neonatal rat model of periventricular leukomalacia.	Sato, Y, Ishida-Nakajima, W., Kawamura, M., Miura, S., Oguma, R., Arai, H., Takahashi, T.	小児科
Am. J. Med. Genet. A., 158A, 220-223.	Jacobsen syndrome due to an unbalanced translocation between 11q23 and 22q11.2 identified at age 40 years.	Takahashi, I., Takahashi, T., Sawada, K., Shimojima, K., Yamamoto, T.	小児科
J Obstet Gynaecol Res., 37,581-5.	Risk factors for recurrence and re-recurrence of ovarian endometriomas after laparoscopic excision.	Hayasaka, S., Ugajin, T., Fujii, O., Nabeshima, H., Utsunomiya, H., Yokomizo, R., Yuki, H., Terada, Y., Murakami, T., Yaegashi, N.	産科婦人科
J Mama Ova Res ,28,139-42.	Management of pregnancy achieved by oocyte donation to a woman with 47,XXX and POF.	Shibuya, Y., Terada, Y., Kumagai, J., Kumazawa, Y., Saito, M., Hoshiai, T., Yaegashi, N.	産科婦人科
J Med Ultrasonics,38,93-5.	Distinctive ultrasonographic finding of complete uterine rupture in early mid-trimester.	Ogawa, M., Sugawara, T., Sato, A., Tanaka, T.	産科婦人科
Prenat Diag,31,917-8.	Is a pericardiocentesis need for preventing hypoplastic lung in case with massive pericardial effusion?	Ogawa, M., Nagao, D., Mori, K., Kamada, K., Sato, A., Terada, Y.	産科婦人科
Endocrinology,152,1090-100.	Brain-derived neurotrophic factor/tyrosine kinase B signaling regulates human trophoblast growth in an in vivo animal model of ectopic pregnancy	Kawamura, K., Kawamura, N., Kumazawa, Y., Kumagai, J., Fujimoto, T., Tanaka, T.	産科婦人科
J. Mammal. Ova Res,28,18-24.	Luteinizing Hormone-induced Ovarian Paracrine Factors for Oocyte Maturation.	Kawamura, K., Kawagoe, Y.	産科婦人科



Human Reprod,26,3094-101.	Pre-ovulatory LH/hCG surge decreases C-type natriuretic peptide secretion by ovarian granulose cells to promote meiotic resumption of pre-ovulatory oocytes.	Kawamura,K.,Cheng,Y., Kawamura,N.,Takase,S., Okada,A.,Kawagoe,Y., Mulders, S.,Terada,Y.,Hsueh,AJ.	産科婦人科
Eur J Obstet Gynecol Reprod Biol,158,209- 13.	Neutrophil elastase and interleukin-6 in amniotic fluid as indicators of chorioamnionitis and funisitis.	Miura,H.,Ogawa,M.,Hirano,H.,Sanada,H.,Sato,A.,Obara,M.,Terada,Y.	産科婦人科
Tohoku J.Exp.Med,223,91-6.	Identifying Prognostic Factors in Japanese Women with Pseudomyxoma Peritonei:A Retrospective Clinico-Pathological Study of the Tohoku Gynecologic Cancer Unit.	Kojimahara,T.,Nakahara,Kenji.,Shoji,T.,Suhiyama,T.,Takano,T.,Yaegashi,N.,Yokoyama,Y.,Mizunuma,H.,Tase,R.,Satou,H.,Tanaka,T.,Motoyama,T.,Kurachi,H	産科婦人科
Alcoholism ClinExpRes., 35(11),2093-100.	Alcohol has a dose-related effect on parasympathetic nerve activity during sleep.	Sagawa, Y., Kondo, H., Matsubuchi, N., Takemura, T., Kanayama, H., Kaneko, Y., Kanbayashi, T., Hishikawa, Y., Shimizu, T.	精神科
Psychiat. Clin. Neuros., 65, 679-680.	Core body temperature rhythms in circadian rhythm sleep disorder, irregular sleep-wake type.	Narita, E., Echizenya, M., Takeshima, M., Inomata, Y., Shimizu, T.	精神科
Akita J Med., 38(1), 27- 29.	CSF hypocretin concentration in various neurological and sleep disorders.	Tsutsui, K., Kanbayashi, T., Sawaishi, Y., Tokunaga, J., Sato, M., Shimizu, T.	精神科
Akita J Med., 38(2), 81-84.	A case with hypocretin (orexin) deficient narcolepsy, Parkinson's disease and severe psychosis was successfully treated by modified electro-convulsive therapy.	Takahashi, Y., Kikuchi, Y.,Kanbayashi, T., Hanazono, A., Abe, S.,Iwaki, S.,Tsutsui, K., Suda, H., Maruyama, F., Shimizu, T.	精神科
精神科18(6), 683-686.	診断確定までに約8年を要した抗NMDA受容体脳炎の1症例.	筒井 幸, 菊池結花, 森 朱音, 湯浅稚子, 三上 学, 神林 崇, 田中恵子, 清水徹男	精神科
精神科治療学26(10), 1327-1331.	統合失調症の診断で維持m-ECTを施行していた抗NMDA受容体抗体陽性の1例.	須田秀可, 筒井 幸, 森 朱音, 細川里恵, 石川博 康, 越前屋勝, 神林 崇, 清水徹男	精神科
精神科治療学26(2), 235-239.	抗NMDA受容体脳炎と診断された男性例.	筒井 幸, 徳永 純, 森 朱音, 近藤 類, 岩谷光 貴, 伏見 進, 大川 聡, 菅原純哉, 苗村育郎, 神 林 崇, 清水徹男	精神科
秋田医学38(2), 57-61.	ロールプレイ形式によるコミュニケーション技術教育の医学生における有用性の検討 がん診療における『悪い知らせ』を伝える場面を中心に.	武村 史, 武村 尊 生, 清水徹男	精神科
東日本震災誌	腰椎多椎間変性疾患に対するskip fusionの検討.	石川慶紀ほか	整形外科
東日本震災誌	運動器市民公開講座参加者に対するロコモティブシンドロームの該当率調査	田澤浩ほか	整形外科
J Spine Res	Perioperative complications of instrumented corrective surgery for spinal deformity in the healthy elderly.	Miyakoshi N	整形外科
Endocrinology. , 152, 1090-1100.	Brain-derived neurotrophic factor/tyrosine kinase B signaling regulates human trophoblast growth in an in vivo animal model of ectopic pregnancy.	Kawamura K, Kawamura N, Kumazawa Y, Kumagai J, Fujimoto T, Tanaka T	皮膚科

皮膚病診療33, 153-156.	広範囲の頭蓋骨欠損を伴った先天性皮膚欠損症.	赤間智範, 長門 一, 輪湖雅彦, 野口奈津子, 西巻啓子, 矢野珠巨, 高橋 勉, 真鍋 求, 梅林芳弘	皮膚科
皮膚臨床53, 1223-1226.	仏壇のロウソクによる熱傷(仏壇熱傷)の7例.	赤間智範, 西巻啓子, 長門 一, 輪湖雅彦, 真鍋 求, 梅林芳弘	皮膚科
皮膚臨床53, 1291-1294.	ステロイドパルス療法が奏効した特発性後天性全身性無汗症の1例.	能登 舞, 山田勝裕, 津田昌明, 長門 一, 齋藤博, 真鍋 求, 梅林芳弘	皮膚科
皮膚病診療33, 913-916.	線状配列を呈した光沢苔癬.	山田勝裕, 山川岳洋, 真鍋 求, 梅林芳弘	皮膚科
皮膚臨床53, 1831-1834.	局面状の臨床像を呈したStewart-Treves 症候群.	斉藤 彬, 赤間智範, 加藤真紀, 津田昌明, 野口奈津子, 真鍋 求, 梅林芳弘	皮膚科
JD38, 1-2.	Most cases of cutaneous squamous cell carcinoma in Japan are classified as 'high risk' according to the Japanese guideline.	Umebayashi Y, Akama T, Manabe M	皮膚科
JD38, 310-320.	Prevalence of dermatological disorders in Japan: A nationwide, cross-sectional, seasonal, multicenter, hospital-based study.	Furue M, Yamazaki S, Jimbow K, Tsuchida Tetsuya, Amagai M, Tanaka T, Matsunaga K, Muto M, Morita E, Akiyama M, Soma Y, Terui T, Manabe M	皮膚科
Int J Nephrol.	Clearance and safety of the radiocontrast medium iopamidol in peritoneal dialysis patients	Hatakeyama S, Abe A, Suzuki T, Hashimoto Y, Koie T, Funyu T, Satoh S, Habuchi T, Ohyama C, Matsuo S	泌尿器科
J Endourol.	The clinical research office of the endourological society audit committee.	Preminger GM, Alken P, Habuchi T, Wijkstra H, Skolarikos A, Yin CJ.	泌尿器科
Carcinogenesis	Overexpression of Fn14 promotes androgen-independent prostate cancer progression through MMP-9 and correlates with poor treatment outcome.	Huang M, Narita S, Tsuchiya N, Ma Z, Numakura K, Obara T, Tsuruta H, Saito M, Inoue T, Horikawa Y, Satoh S, Habuchi T.	泌尿器科
Nat Genet	Seven prostate cancer susceptibility loci identified by a multi-stage genome-wide association study.	Kote-Jarai Z, Olama AA et al.	泌尿器科
EMBO J	A novel strategy for evasion of NK cell immunity by tumours expressing core2 O-glycans.	Tsuboi S, Sutoh M, Hatakeyama S, Hiraoka N, Habuchi T, Horikawa Y, Hashimoto Y, Yoneyama T, Mori K, Koie T, Nakamura T, Saitoh H, Yamaya K, Funyu T, Fukuda M, Ohyama C.	泌尿器科
Transplantation	Correlations between pretransplant dialysis duration, bladder capacity, and prevalence of vesicoureteral reflux to the graft.	Inoue T, Satoh S, Saito M, Numakura K, Tsuruta H, Obara T, Narita S, Horikawa Y, Tsuchiya N, Habuchi T.	泌尿器科
Pharmacogenomics.	Impact of the CYP3A4*1G polymorphism and its combination with CYP3A5 genotypes on tacrolimus pharmacokinetics in renal transplant patients.	Miura M, Satoh S, Kagaya H, Saito M, Numakura K, Tsuchiya N, Habuchi T.	泌尿器科
Int J Clin Oncol	Role of lymph node dissection in managing urologic cancers.	Habuchi T.	泌尿器科

J Laparoendosc Adv Surg Tech A.	What is the most preferred wound site for laparoscopic donor nephrectomy?: a questionnaire assessment.	Saito M, Tsuchiya N, Maita S, Numakura K, Obara T, Tsuruta H, Kumazawa T, Inoue T, Narita S, Horikawa Y, Yuasa T, Satoh S, Habuchi T.	泌尿器科
Jpn J Clin Oncol.	A case of intratesticular endometrioid papillary cystadenocarcinoma.	Numakura K, Tsuchiya N, Tsuruta H, Obara T, Saito M, Inoue T, Narita S, Horikawa Y, Satoh S, Naniyo H, Habuchi T.	泌尿器科
Transplantation.	Factors increasing quantitative interstitial fibrosis from 0 hr to 1 year in living kidney transplant patients receiving tacrolimus.	Miura Y, Satoh S, Saito M, Numakura K, Inoue T, Obara T, Tsuruta H, Narita S, Horikawa Y, Tsuchiya N, Komatsuda A, Kagaya H, Miura M, Habuchi T.	泌尿器科
Int J Clin Oncol.	Combination therapy consisting of gemcitabine, carboplatin, and docetaxel as an active treatment for advanced urothelial carcinoma.	Tsuruta H, Inoue T, Narita S, Horikawa Y, Saito M, Obara T, Numakura K, Maita S, Satoh S, Tsuchiya N, Habuchi T.	泌尿器科
Int J Clin Oncol.	A case study of metastatic Xp11.2 translocation renal cell carcinoma effectively treated with sunitinib.	Numakura K, Tsuchiya N, Yuasa T, Saito M, Obara T, Tsuruta H, Narita S, Horikawa Y, Satoh S, Habuchi T.	泌尿器科
Int J Cancer.	Two survivin polymorphisms are cooperatively associated with bladder cancer susceptibility.	Kawata N, Tsuchiya N, Horikawa Y, Inoue T, Tsuruta H, Maita S, Satoh S, Mitobe Y, Narita S, Habuchi T.	泌尿器科
Jpn J Clin Oncol.	A case of ureteral malignant lymphoma diagnosed by laparoscopic needle biopsy.	Numakura K, Tsuchiya N, Obara T, Tsuruta H, Saito M, Narita S, Inoue T, Horikawa Y, Satoh S, Habuchi T.	泌尿器科
Investigative Ophthalmology & Visual Science	Down regulation of glutamine synthetase via GLAST suppression induces retinal axonal swelling in a rat ex vivo hydrostatic pressure model.	Ishikawa Makoto	眼科
Clinical Ophthalmology	Structural changes in the lacrimal sac epithelium and its lymphoid tissue during rabbit experimental dacryocystitis.	Ishikawa Makoto	眼科
Clinical Ophthalmology	Risk factors for primary open-angle glaucoma in Japanese subjects attending community health screenings.	Ishikawa Makoto	眼科
Journal Of Glaucoma	Optic nerve head morphology assessed by laserscanning tomography in normal Japanese subjects.	Sawada Yu	眼科
Japanese Journal of Ophthalmology	Effects of Rho-associated protein kinase inhibitors Y-27632 and Y-39983 on isolated rabbit ciliary arteries.	Watabe Hiroshi	眼科
あたらしい眼科	全周に及ぶ毛様体色素上皮断裂と網膜剥離を伴った鈍的眼外傷の一例.	神 大介	眼科
臨床眼科	加齢黄斑変性に対するペガブタニブ硝子体内投与の治療効果.	澤田 有	眼科
Int.J.:128 Supplement 1,35-49	Cytoplasmic connexin32 induces an ER-stress response and expands cancer stem cell population in HuH7 hepatoma cells.	Kawasaki,Y.,Li,Q.,Nishikawa,Y.,Yoshioka,Y.,Ishikawa,K.,Enomoto,K.	耳鼻咽喉科
Auris Nasus Larynx38,462-468	Gait instability caused by vestibular disorders-Analysis by tactile sensor.	Angunsri,N.,Ishikawa,K.,Yin,M.,Omi,E.,Shibata,Y.,Saito,T.,Itasaka,Y.	耳鼻咽喉科

Int Arch Allergy Immunol;155(suppl 1)57-63	Peroxisome proliferator-activated receptor- $\gamma$ is expressed in eosinophils in nasal polyps.	Asaka,C.,Honda,K.,Ito,E.,Fukui N.,Chihara,J.,Ishikawa,K.	耳鼻咽喉科
Gait&Posture34,25-28	Small vestibular schwannomas can cause gait instability.	Yin,M.,Ishikawa,K.,Omi,E.,Saito,T.,Itaska,Y.,Angunsri,N.	耳鼻咽喉科
Akita J Med 38, 31-36.	A case of hepatic tumor in which an enhancing cavity appeared during transcatheter arterial chemoembolization.	Sugawara, M., Takahashi M., Hashimoto, M., Yamada, I., Goto, T., Ohnishi, H.	放射線科
Akita J Med 38, 49-55.	Stereotactic irradiation for brain metastases: analysis of prognostic factors in survival.	Izumi, J., Watanabe, O., Koga, M., Anbai A., Suzuki, A., Hashimoto,M.	放射線科
Journal of Neurosurgical Anesthesiology 23, 131-137, 2011	Neuroprotective effects and suppression of ischemia-induced glutamate elevation by b1-adrenoreceptor antagonists administered before transient focal ischemia in rats.	Goyagi T, Nishikawa T, Tobe Y	麻酔科
Circulation Control 32, 32-37, 2011	Effects of oral clonidine premedication on the hypotensive response to nicardipine during isoflurane and nitrous oxide anesthesia.	Nakajima M, Horiguchi T, Nishikawa T	麻酔科
日本臨床麻酔学会誌 31, 999-1002, 2011	右内頸静脈から肺動脈カテーテルを挿入した左上大静脈遺残の1症例.	佐藤浩司, 堀口剛, 西川俊昭	麻酔科
Circulation Control 32, 172-180, 2011	Diuretic effect of oral clonidine premedication during hypotensive anesthesia.	Kudo R, Horiguchi T, Nishikawa T	麻酔科
Cancer ChemotherPharmacol, 2011	Phase II study of FOLFOX4 with "wait and go" strategy as first-line treatment for metastatic colorectal cancer.	Shibata H. et al.	腫瘍内科
Cancer Science, 2011	Curcumin analog GO-Y030 is a novel inhibitor of IKK $\beta$ that suppresses NF- $\kappa$ B signaling and induces apoptosis.	Shibata H. et al.	腫瘍内科
BMC Pharmacology, 2011	Synthesis of 86 species of 1,5-diaryl-3-oxo-1,4-pentadienes analogs of curcumin can yield a good lead in vivo.	Shibata H. et al.	腫瘍内科
British Journal of Cancer, 2011	Targeting colon cancer stem cells using a new curcumin analogue, GO-Y030.	Shibata H. et al.	腫瘍内科
Anticancer Research,2011	Novel Curcumin Analogs, GO-Y030 and GO-Y078, Are Multi-targeted Agents with Enhanced Abilities for Multiple Myeloma.	Shibata H. et al.	腫瘍内科
Case Reports in Oncological Medicine,2011	8FDG-PET at 1-month intervals is a better predictive marker for GISTs that are difficult to be diagnosed histopathologically: a case report	Otsuka K, Shibata H. et al	腫瘍内科
Oncology Letters,2011	Acquired/intratumor mutation of KRAS during metastatic progression of colorectal carcinogenesis	Otsuka K, Shibata H. et al	腫瘍内科
日本集中治療医学会雑誌	ICUに入室した新型インフルエンザA(2009-H1N1)感染患者データベースの分析	多治見公高	救急部
日本集中治療医学会雑誌	ICUの人員配置と運営方針が予後に与える影響について	多治見公高	救急部
Ther Apher Dial	Plasma diafiltration therapy in patients with postoperative liver failure	Nakae H	救急部
日アフレスシス会誌	持続的血液濾過に前濾おける過と後濾過の安全性に関する臨床的検討	中永士師明	救急部
Manual for Oral Care. 325-326.	Care for elderly patients with serious bruxism.	Fukuda, M.	歯科口腔外科
CARBON, 49, 1588-1598.	Significant effect of a carbon layer coating on interfacial bond strength between bone and Ti implant.	Fukuda, M.	歯科口腔外科

Journal of Materials Science: Materials in Medicine, 22, 977-989.	Surface characterization and biological response of carbon-coated oxygen-diffused titanium having different topographical surfaces.	Fukuda, M.	歯科口腔外科
Biochem Biophys Res Commun, 412(2), 273-278.	In vitro prominent bone regeneration by release zinc ion from Zn-modified implant.	Fukuda, M.	歯科口腔外科
歯科薬物療法, 30(1), 2-13.	口腔カンジダ症に対する抗真菌薬の臨床効果の適切な判定方法に関する研究 —抗真菌薬の効果判定基準作成委員会報告—.	福田雅幸	歯科口腔外科
日本口腔インプラント学会誌, 24(4), 639-640.	下顎右側大白歯部欠損にインプラント治療を行った1例.	高野裕史	歯科口腔外科
J Rheumatol 38, 2005-2006.	Eosinophilic Granuloma of the middle ear.	Ueki, S., Yamauchi, H., Takeda, M., Chihara, J.	中央検査部
Int Arch Allergy Immunol 155, 335-344.	Leptin has a priming effect on Eotaxin-Induced human eosinophil chemotaxis.	Kato, H., Ueki, S., Kamada, R., Kihara, J., et al.	中央検査部
Int Arch Allergy Immunol 155(S1), 142-146.	Thioredoxin in allergic inflammation.	Ito, W., Kobayashi, N., Takeda, M., Ueki, S., Kayaba, H., Nakamura, H., Yodoi, J., Chihara, J.	中央検査部
Int Arch Allergy Immunol 155(S1), 57-63	Peroxisome Proliferator-Activated Receptor- $\gamma$ is expressed in eosinophils in nasal polyps.	Asaka, C., Honda, K., Ito, E., Fukui, N., Chihara, J., Ishikawa, K.	中央検査部
Ann Allergy Asthma Immunol 106, 511-517	The opposing role of two prostaglandin D2 receptors, DP and CRTH2, in human eosinophil migration.	Chiba, T., Ueki, S., Ito, W., Kato, H., Kamada, R., Takeda, M., Kayaba, H., Furue, M., Chihara, J.	中央検査部
Rinsho Byori 59, 852-857.	Detection of Mycobacterium Abscessus from blood cultures during treatment of interstitial pneumonia: A case Study.	Suzuki, T., Ito, W., Takeda, M., Kobayashi, N., Ueki, S., Sato, K., Nakamura, M., Tomita, N., Kayaba, H., Chihara, J.	中央検査部
臨床病理59, 364-371.	施設間ネットワークによる細菌検査データベース (Akita-ReNICS)の構築.	植木重治, 萱場広之, 富田典子, 小林則子, 高橋智映, 小原俊隆, 竹田正秀, 守時由起, 糸賀正道, 伊藤亘, 大佐賀敦, 近藤克幸, 荻原順一	中央検査部
日臨化東北会誌 20, 32-33.	rep-PCR法による細菌のタイピング-DicersiLab system-.	小林則子, 達子瑠美, 萱場広之, 伊藤亘, 植木重治, 守時由起, 竹田正秀, 谷貝朋美, 糸賀正道, 荻原順一	中央検査部
Med Mol Morphol	A novel monoclonal antibody identified hepatic stem-like cells in rats:	Watanabe G, Nanjo H, et al	病理部
Acta Histochem Cytochem	A novel immunohistochemical staining method allows ultrarapid detection of lymph node micrometastases while conserving antibody.	Toda H, Nanjo H, et al	病理部
BMC pharmacology	Synthesis of 86 species of 1,5-diaryl-3-oxo-1,4-pentadienes analogs of curcumin can yield a good lead in vivo.	Kudo C, Nanjo H, et al	病理部
Gan To Kagaku Ryoho	A case of recurrent malignant melanoma of esophagus responsive to combined chemotherapy, radiotherapy and cellular immunotherapy.	Motoyama, S., Nanjo H, et al	病理部
Case Reports in Oncological Medicine	18FDG-PET at 1-month intervals is a better predictive marker for GISTs that are difficult to be diagnosed histopathologically: a case report.	Otsuka K, Nanjo H, et al	病理部
Oncology Letters	Acquired/intratumor mutation of KRAS during metastatic progression of colorectal carcinogenesis.	Otsuka K, Nanjo H, et al	病理部

J. Infect. Chemother	Fatal hemorrhagic pneumonia caused by <i>Stenotrophomonas maltophilia</i> in a patient with non-Hodgkin lymphoma.	Takahashi, N., Nanjo H, et al	病理部
Neuropathology	Immunohistochemical characterization of microglia in Nasu-Hakola disease brains.	Satoh, J., Nanjo H, et al	病理部
Int. J. Cancer	Cytoplasmic accumulation of connexin32 expands cancer stem cell population in human HuH7 hepatoma cells by enhancing its self-renewal.	Kawasaki, Y.,Nanjo H, et al	病理部
秋田県医師会雑誌, 62, 48-58.	2009年秋田県地域がん登録の集計報告.	加藤哲郎、戸堀文雄、 佐藤家隆、大山則昭、 廣川 誠、遠藤和彦	腫瘍情報センター
2011;59(3):205-8.	Late-onset chylothorax after pulmonary resection for lung cancer. <i>Gen Thorac Cardiovasc Surg.</i>	Tabu M, Imai K, Ogawa J, Minamiya Y, Yoshida S, Hirayama K, Sawano T, Matsuzaki I.	腫瘍情報センター
<i>Gen Thorac Cardiovasc Surg.</i> 2011;59:771-774.	Postoperative bronchial stump fistula after lobectomy: response to occlusion with polyglycolic acid mesh and fibrin glue via bronchoscopy.	Imai K, Matsuzaki I, Minamiya Y, Saito H, Yoshida S, Hirayama K, Sawano T, Ogawa I	腫瘍情報センター
<i>Rinsho Byori.</i> 59: 852- 857, 2011.	Detection of <i>Mycobacterium</i> abscessus from blood cultures during treatment of interstitial pneumonia: a case study.	Suzuki T, Ito W, Takeda M, Kobayashi N, Uek S, Sato K, Nakamura M, Tomita N, Kayaba H, Chihara J.	感染制御部
臨床病理59巻4号364- 371. 2011.	施設間ネットワークによる細菌検査データベース (Akita-ReNICS)の構築	植木重治、萱場広之、 富田典子、小林則子、 高橋智映、小原俊隆、 竹田正秀、守時由起、 糸賀正道、伊藤亘、大 佐賀敦、近藤克幸、荻 原順一。	感染制御部
<i>Ther Drug Monit</i>	Simultaneous determination of warfarin and 7-hydroxywarfarin enantiomers by high-performance liquid chromatography with ultraviolet detection	三浦昌朋等	薬剤部
<i>J Clin Pharm Ther</i>	Pharmacogenetic determinants for interindividual difference of tacrolimus pharmacokinetics 1 year after renal transplantation	三浦昌朋等	薬剤部
<i>J Chromatogr Sci</i>	Quantitative determination of imatinib in human plasma with high-performance liquid chromatography and ultraviolet detection	三浦昌朋等	薬剤部
<i>Pharmacogenomics</i>	Impact of the CYP3A4*1G polymorphism and its combination with CYP3A5 genotypes on tacrolimus pharmacokinetics in renal transplant patients	三浦昌朋等	薬剤部
<i>Clin Chim Acta</i>	Drug interaction of (S)-warfarin, and not (R)-warfarin, with itraconazole in a hematopoietic stem cell transplant recipient	三浦昌朋等	薬剤部

小計 13

計 173

- (注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
- 2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 伊藤 宏		
管理担当者氏名	総務課長 中野公雄	医事課長 玉尾喜寿男	薬剤部長 三浦昌朋

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医事課 (病歴室)	外来は1患者1カルテ、 入院は1入院1カルテ
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	年度ごとに紙媒体
	高度の医療の提供の実績	医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事課	
	高度の医療の研修の実績	総務課	
	閲覧実績	総務課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	
入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課 薬剤部		
第規 一則 号第 一に 掲条 の 十一 体 制第 一 項 各 号 状 及 び 第 九 条 の 二 十 三 第 一 項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医事課	年度ごとに紙媒体
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医事課	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医事課	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	医事課	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医事課	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医事課	

		保管場所	分類方法		
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一	院内感染のための指針の策定状況	医事課	年度ごとに紙媒体	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部		
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部		
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部		
	第一項各号及び第九条の二十三	第一項第一号に掲げる体制の確保の状況	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	薬剤部	一覧にして電子媒体と各項目ごとに紙媒体
			従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
			医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
			医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
			医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	臨床工学センター	
			従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学センター	一覧にして紙媒体
			医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学センター	
			医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学センター	年度毎に紙媒体

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。



(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	病院長 伊藤 宏
閲覧担当者氏名	総務課長 中野 公雄
閲覧の求めに応じる場所	管理棟会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数		延	0	件
閲覧者別	医 師	延	0	件
	歯 科 医 師	延	0	件
	国	延	0	件
	地方公共団体	延	0	件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	81.1 %	算定期間	平成23年4月1日～平成24年3月31日
算出根拠 A: 紹介患者の数			8,547 人
B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			7,112 人
C: 救急用自動車によって搬入された患者の数			1,531 人
D: 初診の患者の数			14,070 人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 3 第 1 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) 安全管理に関する基本的な考え方</li><li>(2) 安全管理のための委員会、その他組織に関する基本的事項</li><li>(3) 安全管理のための職員研修に関する基本方針</li><li>(4) 医療の安全確保を目的とした改善の方策に関する基本方針</li><li>(5) 医療事故等発生時の対応に関する基本方針</li><li>(6) 患者との情報の共有に関する基本方針</li><li>(7) 患者からの相談対応に関する基本方針</li><li>(8) その他医療安全の推進のために必要な基本方針</li></ol>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 13回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) 医療に係る安全管理の指針に関すること</li><li>(2) 医療に係る安全管理の体制に関すること</li><li>(3) 医療安全に関するマニュアルに関すること</li><li>(4) 医療の安全管理のための職員研修に関すること</li><li>(5) インシデントに関する調査・分析、改善策の策定・実施及び職員への周知に関すること</li><li>(6) 医療事故の判定及び認定に関すること</li><li>(7) 策定された改善策の評価及び見直しに関すること</li><li>(8) 医療事故及び医事紛争の対応策に関すること</li><li>(9) その他医療の安全管理に関し必要なこと</li></ol>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 8回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>第 1 回：「医療支援中間報告会」 第 2 回：「AED 管理・操作法と気管挿管の確認について」 第 3 回：「インスリン療法を安全に行うために ～基本に立ち返って～」 「インスリン関連作業のここがあぶない！ ～感染防止対策として」 第 4 回：「『報告と救命』—全職種で取り組む医療安全—」 第 5 回：「感染制御・医療安全のための各職種間連携」 第 6 回：「患者からの暴言・暴力の 実態とその対応」 第 7 回：「医療におけるヒューマンエラーと対策 ～特に、確認とコミュニケーションについて～」 第 8 回：「危機的出血への対応」</p>	

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況

・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有・無)

インシデント発生部署から報告された事例の改善案を基に、医療安全管理部において改善策の立案を行う。その後、医療安全管理委員会において、改善策の評価及び見直しについて審議決定する。医療事故または医療事故が疑われる事例に関しては、医療安全管理委員会において、改善策の策定、評価及び見直しについて審議決定する。重大な事故の発生時には、速やかに病院長へ報告する。なお、事故の報告は診療録、看護記録等に基づき作成する。

・ その他の改善のための方策の主な内容：【H23.9～】

(1)医療安全管理

- 各診療科別訪問ミニ研修会の開催(H23.9～)
- 報告するべき合併症(事例)基準の作成(H23.11)
- 医療安全管理マニュアルの改訂(第6版)【閲覧:病院情報システム/周知:確認テストの実施】(H24.3)
- 「血糖測定指示書」(第3版)改訂(H24.5)
- 薬剤師GRMを配置(H24.4～)
- 「インスリン指示書」の改訂(第3版)(H24.7)
- 医療安全管理マニュアル 抗がん剤血管外漏出時のフローチャート変更(H24.9)
- 他院からの電子媒体画像情報の取り込みシステムの構築(H24.9～)
- 診療科特化マニュアルの改訂作業中

(2)「予防処置」

- RI検査の放射線量管理の状況確認(H23.9)
- 中心静脈カテーテルポート留置の説明・同意書の作成(H23.9)
- 乳がん診察時における事前説明の徹底(H24.6)
- 造影剤の薬品管理の徹底(H24.7)

(3)「是正処置」

- 聴力障害を伴った患者確認用磁気メモボード設置(H23.9)
- 中心静脈カテーテル挿入時におけるガイドワイヤーの取り扱いについて周知(H23.10)
- 脱落した臍帯の取り扱いについて検討(H23.11)
- 緊急輸血時のO型血液使用ルールについて周知(H23.12)
- クレークを対象とする医療安全管理研修会の実施(H23.12)
- MRI時のDIBキャップの取り扱い、「MRI時の注意」カード作成(H24.1)
- 心電図モニターの電極リード差込間違い防止カバーの点検、再装着(H24.1)
- 「輸血療法マニュアル」の周知(H24.2)
- 輸血管理を輸血部に一元化(H24.2)
- 輸液セットのパッケージデザイン変更についてメーカーに依頼、病棟配置場所の変更(H24.2)
- 相談支援センターからの「PET-CT予約診療情報提供書」提出方法の改善(H24.2)
- 水剤調剤手順の遵守の徹底と鑑査の改善(H24.2)
- カプノメーターを追加設置(H24.3)
- 気管挿管チューブ自然抜去・自己抜去に関する分析(H24.4)
- 病理検体の取扱い方法を改善(H24.4/H24.6)
- 薬剤部BCA液作成用の攪拌機導入(H24.4)
- ソフトバッグ輸液の取り扱いについて周知(H24.5)
- 金属クリップが使用されているカテーテル固定具について周知(H24.6)
- MRI施行時における遠赤外線素材衣類の脱衣確認について周知(H24.7)
- 入院時要約の運用と外来診療録病歴要約の作成について取り決め(H24.7)
- CAC(院内緊急呼び出し)のかけ方について周知(H24.8)
- アレルギー・禁忌薬の有無について、確認と入力を医療情報端末に統一(H24.6)
- 患者引き継ぎ書に「アレルギーの有無」と「ヨード過敏症の有無」の記載欄を追加(H24.7)
- 薬剤使用期限管理の徹底(H24.7)
- 注射ラベルと統一させるため、注射指示書を和暦表示から西暦表示へ変更(H24.7)
- エピネフリンシリンジの救急カート定数配置(H24.7)

⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 ( 2名 ) ・ 無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 ( 2名 ) ・ 無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 所属職員： 専任 ( 4 ) 名 兼任 ( 16 ) 名</li> <li>・ 活動の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 委員会で用いられる資料及び議事要旨の作成並びに保存その他委員会の庶務に関すること。</li> <li>(2) インシデントに関する診療録や看護記録等への記載が正確かつ十分になされていることを確認するとともに、必要な指導を行うこと。</li> <li>(3) 患者や家族への説明など事故発生時の対応状況について確認するとともに、必要な指導を行うこと。</li> <li>(4) インシデントの原因究明ができせつに実施されていることを確認するとともに、必要な指導を行うこと。</li> <li>(5) インシデント報告の調査・分析及び改善策の立案に関すること。</li> <li>(6) インシデント報告の判定に関すること。</li> <li>(7) 委員会で策定された改善策の実施状況調査に関すること。</li> <li>(8) 医療の安全管理に関する指導方法に関すること。</li> <li>(9) 医療の安全管理のための職員研修の実施に関すること。</li> <li>(10) 医療安全管に関するマニュアル及び各種マニュアルの作成・改訂作業に関すること。</li> <li>(11) 医療の安全に係る連絡調整に関すること。</li> <li>(12) 患者等から本院の医療に係る安全管理のための指針の閲覧の申し出があった場合、当該指針の閲覧に供すること。</li> <li>(13) その他医療安全対策の推進に関すること。</li> </ul> </li> </ul>	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無

(様式第 13-2)

### 院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) 院内感染対策に関する基本的な考え方</li><li>(2) 院内感染対策のための委員会、その他組織に関する基本事項</li><li>(3) 院内感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針</li><li>(4) 感染症の発生状況の報告に関する基本方針</li><li>(5) 院内感染症発生（アウトブレイク）時の対応に関する基本方針</li><li>(6) 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針</li><li>(7) その他の当該病院等における院内感染対策の推進のために必要な基本方針</li></ol>	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 2 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) 病院感染制御の指針に関すること</li><li>(2) 病院感染制御の体制に関すること</li><li>(3) 病院感染制御に関するマニュアルに関すること</li><li>(4) 病院感染制御のための職員研修に関すること</li><li>(5) 院内感染に関する調査・分析、改善策の策定・実施及び職員への周知に関すること</li><li>(6) 策定された改善策の評価及び見直しに関すること</li><li>(7) 院内感染の予防対策の実施及び指導に関すること</li><li>(8) 感染発症時の処置に関すること</li></ol>	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 5 回
<p>・ 研修の主な内容：【平成 2 3 年度実績】</p> <p>第 1 回：「医療支援中間報告会」 第 2 回：「針刺し・切創、粘膜・皮膚曝露予防は職場風風土の改革から～全国エイズ拠点病院調査および自施設での経験から」 第 3 回：「インスリン療法を安全に行うために～基本に立ち返って～」 「インスリンの関連作業のここがあぶない！～感染防止対策として～」 第 4 回：「感染制御・医療安全のための各職種間連携」 第 5 回：DVD 上映会 「針刺し・切創、粘膜・皮膚曝露予防は職場風風土の改革から～全国エイズ拠点病院調査および自施設での経験から」 「今からレベルアップ！覚えよう！手指衛生のタイミング・チョイス・テクニック」</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p> <p>院内感染の発生状況を把握するため、院内における感染症の発生動向の状況を共有することで、院内感染の発生の予防及びまん延の防止を図る。また、重大な院内感染等が発生し、院内のみでの対応が困難な事態が発生した場合、又は発生したことが疑われる場合は、地域の専門家等に相談が行われる体制を確保する。さらに、「院内感染対策のための指針」に即した院内感染対策マニュアルを整備する等、その他の院内感染対策の推進のために必要な改善策を図るとともに、それらを定期的に見直す。また、以下について策定し、職員に周知した。</p>	

・ その他の改善のための方策の主な内容：

1. サーベイランス

- 1) 薬剤耐性菌
- 2) 血液培養陽性例
- 3) 中心静脈カテーテル関連血液感染（血液内科・消化器内科・神経内科・ICU）
- 4) 人工呼吸器関連肺炎（ICU）
- 5) メディカルデバイスカウント

2. 抗菌薬適正使用のための活動

- 1) サーベイランスデータに基づいた院内ラウンド（毎週木曜日）
- 2) メーリングリストによる院内ラウンド報告（ICT・ICLS）
- 3) 毎月の薬剤耐性菌サーベイランスレポート・抗菌薬使用状況・抗菌薬長期使用患者数報告（ICC・ICT会議は毎月、ICLS会議は奇数月）
- 4) 一年間の抗菌薬使用状況・薬剤感受性の変化についての報告等（ICC・ICT会議は毎月、ICLS会議は奇数月）
- 5) SSI予防投与遵守状況把握

3. マニュアル整備

- 1) 病院感染制御マニュアル
- 2) 感染管理ベストプラクティス
- 3) 手術部位感染とその予防及び同術期抗菌薬使用ガイドライン2008
- 4) 抗菌薬使用ガイドライン2007

4. コンサルテーション

- 1) 感染経路別予防薬のための患者配置
- 2) 針刺し・切創皮膚粘膜曝露時対応
- 3) 抗菌薬の選択と使用方法（医師）
- 4) その他

5. 感染管理のための教育

- 1) 研修会開催
- 2) ICLS向けプレゼンテーション
- 3) 手指衛生強化のための個人指導
- 4) 外注業者対象

6. 環境整備（ゾーニング等）

- 1) 院内環境ラウンド（週2回）

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 4回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>新人職者に対する薬剤業務全般の研修会 インスリンに関する研修会 注射薬配合変化について 疼痛緩和ポケットマニュアル研修会</p>	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<p>・ 手順書の作成 (有・無)</p> <p>・ 業務の主な内容：</p> <p>1) 医薬品の採用、2) 医薬品の購入、3) 調剤室における医薬品管理、 4) 麻薬室における医薬品管理、5) 薬品供給室における医薬品管理、 6) 製剤室における医薬品管理、7) 病棟における医薬品管理、 8) 外来患者への医薬品管理、9) 入院患者への医薬品管理、 10) 病棟・各部門への医薬品供給、11) 医薬品情報の収集・管理・提供、 12) 手術・麻酔部門、13) 集中治療室、14) 救急部門、 15) 輸血・血液管理部門、16) 生命維持管理装置領域、 17) 臨床検査部門・画像診断部門、18) 歯科領域、19) 他施設との連携、 20) 事故発生時の対応、21) 教育・研修</p> <p>手順書に基づき定期的実施状況を確認し、その確認内容を記録している (年1回)。 平成23年10月6日にチェックリストを用いて点検を終了した。</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>ユヤマ調剤支援システム、PMDA、緊急安全性情報、医薬品・医療機器等安全性情報、 医薬品安全対策情報等より情報を収集している。院内の医療従事者への情報提供は、 病院情報システム・インフォメーション、医薬品情報誌、薬愛管理指導支援システム MDbank検索システム、院内メール等で、また薬剤部内への情報提供は、 薬剤部全体会議 (週1回開催)、病棟業務に関する薬剤部カンファレンス (週1回開催)、 医薬品説明会、薬品情報誌、院内メール等で行っている。</p>	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 36回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>使用経験のない新しい医療機器の導入時及び特に安全使用に際して技術の習得が必要と考えられる医療機器に関して、その有効性・安全性、使用方法、保守点検、不具合発生時の対応、並びに特に法令上遵守すべき事項に関する研修を定期的に行い、その実施内容を記録している。</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <p>保守点検に関する計画の策定に当たっては、医療機器の添付文書に記載されている保守点検に関する事項を参照するとともに、必要に応じて当該医療機器の製造販売業者から情報を提供してもらい、機種別に保守点検の時期等を記載している。</p> <p>また、保守点検の実施に当たっては、その実施状況、使用状況、修理状況並びに購入年等を把握し記録するとともに、保守点検の実施状況を評価し、必要に応じて安全面に十分配慮した医療機器の採用に関する助言、保守点検計画の見直しを行っている。</p> <p>なお、保守点検を外部に委託する場合も同様の対応を行い、実施状況の記録を保存している。内容については別紙のとおり。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>医療機器の使用に当たっては、当該医療機器の製造販売業者が指定する使用方法を遵守するべく、医療機器の添付文書、取扱説明書等の安全使用・保守点検等に関する情報を整理・管理している。</p> <p>また、医療機器の不具合情報や安全性情報等の安全使用に資する情報を製造販売業者等から一元的に収集し、得られた情報を当該医療機器に携わる者へ提供するとともに、管理している医療機器の不具合や健康被害等に関する内外の情報を収集し、病院長への報告等を行っている。</p> <p>なお、情報の収集等においては、製造販売業者が行う医療機器の適正な使用のために必要な情報の収集に対して病院が協力するよう努めること、及び医療機器について当該品目の副作用等の発生を知った場合において、保健衛生上の危害の発生又は拡大を防止するため必要があると認めるときは、厚生労働大臣に対して副作用等の報告義務があることに留意し当たっている。</p>	















輸液ポンプ	テルモ	TE-171A	2011/1/27	購入	定期点検	52週	2011/12/12	
輸液ポンプ	テルモ	TE-171A	2011/1/27	購入	定期点検	52週	2011/12/6	
輸液ポンプ	テルモ	TE-171A	2011/1/27	購入	定期点検	52週	2011/12/22	
輸液ポンプ	テルモ	TE-171A	2011/1/27	購入	定期点検	52週	2011/12/21	
輸液ポンプ	テルモ	TE-171A	2011/1/27	購入	定期点検	52週	2011/12/12	
輸液ポンプ	テルモ	TE-171A	2011/1/27	購入	定期点検	52週	2011/11/1	
輸液ポンプ	テルモ	TE-171A	2011/1/27	購入	定期点検	52週	2011/12/14	
輸液ポンプ	テルモ	TE-171A	2011/1/27	購入	定期点検	52週	2011/12/9	
輸液ポンプ	テルモ	TE-171A	2011/1/27	購入	定期点検	52週	2011/12/8	
輸液ポンプ	テルモ	TE-171A	2011/1/27	購入	定期点検	52週	2011/10/19	
輸液ポンプ	テルモ	TE-171A	2011/1/27	購入	定期点検	52週	2011/12/22	
輸液ポンプ	テルモ	TE-171A	2011/1/27	購入	定期点検	52週	2011/12/7	
輸液ポンプ	テルモ	TE-171A	2011/1/27	購入	定期点検	52週	2011/10/7	
輸液ポンプ	テルモ	TE-171A	2011/1/27	購入	定期点検	52週	2012/1/13	
輸液ポンプ	テルモ	TE-171A	2011/1/27	購入	定期点検	52週	2012/1/27	
輸液ポンプ	テルモ	TE-171A	2011/1/27	購入	定期点検	52週	2011/12/22	
輸液ポンプ	テルモ	TE-171A	2011/1/27	購入	定期点検	52週	2012/1/20	
輸液ポンプ	テルモ	TE-171A	2011/1/27	購入	定期点検	52週	2012/1/20	
輸液ポンプ	テルモ	TE-171A	2011/1/27	購入	定期点検	52週	2011/12/19	
輸液ポンプ	テルモ	TE-171A	2011/1/27	購入	定期点検	52週	2012/1/11	



2011年度 保守点検計画書

機種種名	メーカー	機種型式	取得日	取得区分	点検名	点検周期	点検実施日
人工呼吸器	コヴィデイエン ジャパン	ベネット840	2006/3/1	購入	定期点検	52週	2011/9/1
人工呼吸器	コヴィデイエン ジャパン	ベネット840	2006/3/3	購入	定期点検	52週	2011/9/13
人工呼吸器	コヴィデイエン ジャパン	ベネット840	2006/3/13	購入	定期点検	52週	2011/9/14
人工呼吸器	コヴィデイエン ジャパン	ベネット840	2006/3/15	購入	定期点検	52週	2012/2/28
人工呼吸器	コヴィデイエン ジャパン	ベネット840	2006/3/15	購入	定期点検	52週	2011/8/25
人工呼吸器	コヴィデイエン ジャパン	ベネット840	2006/4/12	購入	定期点検	52週	2011/9/22
人工呼吸器	コヴィデイエン ジャパン	ベネット840	2010/3/19	購入	定期点検	52週	2011/4/18
人工呼吸器	コヴィデイエン ジャパン	ベネット840	2010/3/19	購入	定期点検	52週	2011/5/16
人工呼吸器	コヴィデイエン ジャパン	ベネット840	2010/3/19	購入	定期点検	52週	2012/7/20
人工呼吸器	コヴィデイエン ジャパン	ベネット840	2010/3/19	購入	定期点検	52週	2011/4/15
人工呼吸器	コヴィデイエン ジャパン	ベネット840	2010/3/19	購入	定期点検	52週	2012/7/31
人工呼吸器	コヴィデイエン ジャパン	ベネット840	2010/3/19	購入	定期点検	52週	2012/3/28
人工呼吸器	コヴィデイエン ジャパン	ベネット840	2010/3/19	購入	定期点検	52週	2011/4/14
人工呼吸器	コヴィデイエン ジャパン	ベネット840	2010/3/19	購入	定期点検	52週	2011/5/13
人工呼吸器	コヴィデイエン ジャパン	ベネット840	2010/3/19	購入	定期点検	52週	2012/5/31
人工呼吸器	コヴィデイエン ジャパン	ベネット840	2010/3/19	購入	定期点検	52週	2012/4/10
人工呼吸器	東北エア・ウオーター	セクリスト IV-100B	2005/9/8	購入	定期点検	52週	2011/12/20
人工呼吸器	メトラン	カリオペ	2005/9/14	購入	定期点検	52週	2012/3/30
人工呼吸器	アイ・エム・アイ	VIP Bird Sterning	2005/8/19	購入	定期点検	52週	2011/6/15
人工呼吸器	NEWPORT MEDICAL INSTRUMENT	Model E100A	2005/8/26	購入	定期点検	52週	2011/11/16
人工呼吸器	東北エア・ウオーター	インファントフローシステムDC	2005/8/31	購入	定期点検	52週	2011/7/5
人工呼吸器	フクダ電子	サーボ 900C	2005/9/6	購入	定期点検	52週	2011/4/5
人工呼吸器	NEWPORT MEDICAL INSTRUMENT	Model E100A	2005/9/9	購入	定期点検	52週	2011/11/15
人工呼吸器	東北エア・ウオーター	セクリスト IV-100B	2005/9/14	購入	定期点検	52週	2011/11/11
人工呼吸器	フクダ電子	サーボ 900C	2005/10/20	購入	定期点検	52週	2011/9/16
人工呼吸器	東北エア・ウオーター	インファントフローシステムDC	2005/10/24	購入	定期点検	52週	2011/8/24
人工呼吸器	メトラン	カリオペ	2005/11/24	購入	定期点検	52週	2011/10/7
人工呼吸器	フクダ電子	サーボ i	2006/1/10	購入	定期点検	52週	2011/12/12
人工呼吸器	フクダ電子	サーボ i インフロント	2008/3/5	購入	定期点検	52週	2011/11/11
人工呼吸器	アイ・エム・アイ	VELAコンプリ	2008/3/25	購入	定期点検	52週	2012/1/11
人工呼吸器	アイ・エム・アイ	VELAコンプリ	2008/3/25	購入	定期点検	52週	2011/8/30
人工呼吸器	アイ・エム・アイ	VELAコンプリ	2008/6/30	購入	定期点検	52週	2011/9/26
人工呼吸器	フクダ電子	サーボ i インフロント	2008/6/30	購入	定期点検	52週	2011/9/6
人工呼吸器	東北エア・ウオーター	インファントハイアップ	2010/2/11	購入	定期点検	52週	2011/8/17
人工呼吸器	メトラン	ハミングX	2011/3/11	購入	定期点検	52週	2012/3/15



2011年度 保守点検計画書

機器種類名	メーカー	機器型式	取得日	取得区分	点検名	点検周期	2011/4/13	2011/8/9	2011/11/21
除細動器	フリップスメデイカル	ハートスタートFR2+	2005/8/9	購入	定期点検	13週	2011/4/13	2011/8/9	2011/11/21
除細動器	フクダ電子	FC-710	2005/9/1	購入	定期点検	13週	2011/11/7		
除細動器	フリップスメデイカル	ハートスタートFR2+	2005/10/13	購入	定期点検	13週	2011/4/6	2011/6/15	2011/12/9
除細動器	フクダ電子	FC-560	2005/10/26	購入	定期点検	13週	2011/8/9	2012/3/1	
除細動器	フクダ電子	FC-560	2005/11/10	購入	定期点検	13週	2011/7/8	2012/2/29	
除細動器	フクダ電子	FC-1400	2005/11/17	購入	定期点検	13週	2011/8/30	2012/3/22	
除細動器	フリップスメデイカル	ハートスタートXL	2005/12/15	購入	定期点検	13週	2011/4/27	2011/10/5	2012/3/30
除細動器	フリップスメデイカル	ハートスタートXL	2005/12/16	購入	定期点検	13週	2011/5/12	2011/10/6	2012/1/11
除細動器	フリップスメデイカル	ハートスタートXL	2005/12/20	購入	定期点検	13週	2011/8/10	2012/3/2	
除細動器	フリップスメデイカル	ハートスタートXL	2005/12/21	購入	定期点検	13週	2012/2/28		
除細動器	フリップスメデイカル	ハートスタートXL	2006/3/10	購入	定期点検	13週	2011/4/1	2012/2/21	
除細動器	フリップスメデイカル	ハートスタートXL	2006/5/9	購入	定期点検	13週	2011/8/11	2012/3/7	
除細動器	フクダ電子	FC-560	2006/7/11	購入	定期点検	13週	2011/4/7	2012/1/17	
除細動器	フリップスメデイカル	ハートスタートFR2+	2006/7/21	購入	定期点検	13週	2011/6/15	2012/1/17	2012/3/13
除細動器	フリップスメデイカル	ハートスタートFR2+	2006/8/25	購入	定期点検	13週	2011/4/7	2011/6/15	2012/1/17
除細動器	フリップスメデイカル	ハートスタートFR2+	2006/9/6	購入	定期点検	13週	2011/6/14	2012/1/17	2012/3/13
除細動器	フリップスメデイカル	ハートスタートFR2+	2006/9/12	購入	定期点検	13週	2011/6/14	2011/10/11	2012/3/19
除細動器	フクダ電子	FC-200	2006/11/22	購入	定期点検	13週	2011/8/12	2012/3/14	
除細動器	フリップスメデイカル	ハートスタートXL	2008/2/8	購入	定期点検	13週	2011/4/6	2012/3/2	
除細動器	フクダ電子	FC-560	2005/10/26	購入	定期点検	13週	2011/7/1	2011/9/30	2012/1/4
除細動器	フリップスメデイカル	ハートスタートXL	2009/10/11	購入	定期点検	13週	2011/8/12	2012/3/15	
除細動器	フリップスメデイカル	ハートスタートXL	2009/10/11	購入	定期点検	13週	2011/8/1		
除細動器	フリップスメデイカル	ハートスタートXL	2009/10/11	購入	定期点検	13週	2011/4/27	2012/2/24	
除細動器	フリップスメデイカル	ハートスタートXL	2010/3/10	購入	定期点検	13週	2011/5/25	2011/10/28	2012/1/30
除細動器	フリップスメデイカル	ハートスタートXL	2010/3/10	購入	定期点検	13週	2011/6/29	2011/10/27	2012/2/16
除細動器	フリップスメデイカル	ハートスタートXL	2010/3/10	購入	定期点検	13週	2011/4/4	2011/7/7	2011/10/7
除細動器	フリップスメデイカル	ハートスタートFR2+	2010/9/1	譲受	定期点検	13週	2011/4/6	2012/1/17	
除細動器	フリップスメデイカル	ハートスタートFR2+	2010/12/21	購入	定期点検	13週	2011/4/4	2011/11/21	2012/3/13
除細動器	フリップスメデイカル	ハートスタートFR2+	2010/12/28	購入	定期点検	13週	2011/4/4	2011/11/21	2012/3/13
除細動器	フリップスメデイカル	ハートスタートXL	2011/2/22	購入	定期点検	13週	2011/8/17	2012/3/16	
除細動器	日本ヒューレット・パッカード	CodeMaster XL	2006/6/2	購入	定期点検	13週	2011/4/21	2011/7/22	2011/11/2
除細動器	フリップスメデイカル	ハートスタートXL	2008/2/8	購入	定期点検	13週	2011/4/11	2011/7/8	2011/10/7
除細動器	フリップスメデイカル	ハートスタートXL	2011/1/26	購入	定期点検	13週	2011/4/12	2011/7/12	2011/10/12